

平成 26 年 10 月 10 日

いわき明星大学 看護学部（仮称）開設について

学校法人明星学苑
副理事長 小川哲生
いわき明星大学
学 長 山崎洋次

今般、学校法人明星学苑 いわき明星大学（以下、本学）は、平成 29 年度（予定）に看護学部の設置を目指すこととなりましたので、発表いたします。

本学は、いわき市からの強い要請を受けて、昭和 62 年の開学以来、「全人教育に基づいた、地域に貢献できる人を育成する」という教育目標のもと、地域のためにより有為な人材を輩出し、地域に貢献できるよう努めて参りました。開学当初は理工学部及び人文学部の 2 学部で発足し、その後、社会状況の変化等に応じて幾度かの学科の再編や新設を行い、学部名称の変更も経ながら、平成 19 年 4 月には薬学部を新設し、現在、科学技術学部と人文学部を併せて 3 学部体制となっています。

しかしながら、近年の少子化の進行をはじめとして社会状況や経済状況の変化が著しく、また、福島第一原子力発電所事故による風評被害によって、深刻な影響を受けたことを踏まえ、今後の人材養成の目標と学部のあり方について検討を重ね、残念ながら今年度をもって科学技術学部の募集を停止し、次年度から人文学部を教養学部へ改組転換することとなりました。平成 27 年度からは教養学部と薬学部として、教育の質を高め、人材養成に徹することにより、地域に貢献する人材の輩出という成果を上げていくことを目指してまいります。

昨今、本学には、いわき市関係者をはじめ多くの方々から医療系、特に看護系の学部設置が強く要望されています。さらには市議会での定例会一般質問においても度々、看護大学の開設に対する支援等について質問がでています。

また、本学は前述のとおりいわき市からの強い要請を受けて開学した大学で、当初いわき市からは 3 学部体制を望まれておりましたが、今年度をもって科学技術学部の募集停止することにより次年度以降はいわき市からのご要望にお応えできない状況となります。

このような状況の中、本学では、教養学部と薬学部による地域社会への人材輩出による貢献の他に、地域からのご要望の強い看護学部（仮称）を設置して、看護師という地域医療の担い手となる人材を養成することで、更なる地域貢献を推進していくこととしました。

本学において看護学部（仮称）を設置することは、薬学部で培ってきた医療教育資源を有効に活用することで、看護学部においても高度な専門知識をもち、かつ医療の担い手として

適切・迅速に対応できる広い教養と基礎学力、そして問題解決能力のある看護師を養成することが可能となります。また、薬学部との連携によって、看護学部（仮称）と薬学部のシナジー効果が期待され、教育の質の向上と効率化につなげることができます。

加えて教養学部の教育との連携によって、三学部が三位一体となって地域のための医療人の育成を行います。

今回計画している看護学部（仮称）については、現時点で入学定員や詳細の教育課程について発表できる段階ではありませんが、まずは看護学部（仮称）設置についての計画を表明することにより、看護系の大学や学部を待望される地域の方々の期待にお応えしたく、本日発表させていただくこととなりました。

なお、今後、学部内容の詳細な検討や文部科学省との相談、折衝を行うことにより、その過程において学部名称や開設時期について一部変更となる可能性もあることをご了承ください。

本学は、これからもいわき地域の発展に寄与し、地域に必要とされる大学として引き続き存立していく所存です。これからも地域の皆様のご支援・ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

なお、本件に関するお問い合わせは、いわき明星大学 学長室（TEL 0246-29-7162）までお願いいたします。

以 上

本学における学部学科構成図（予定）

[] 内の数字は入学定員

